

2021 年度 優秀卒業論文表彰式

2022 年 3 月 24 日、経済学部第一会議室において優秀卒業論文表彰式が行われました。最優秀論文 1 本と優秀論文 3 本の執筆者に賞状と副賞が授与されました。



前列左より、川平さん、蒲田さん、鈴木さん、中根さん

後列左より、広田副学部長、中莖経和会副会長、有賀先生、大津先生、井原先生、今泉先生、禹学部長、江口先生

最優秀論文賞（経済学会賞）

中根 陽哉（今泉ゼミ）

「クラウドファンディング型ふるさと納税がふるさと納税制度に与える影響」

【概評】

本論文は、クラウドファンディング（CF）型ふるさと納税の普及がふるさと納税制度全体に与え得る影響を分析したものである。プロジェクトの内容や目標金額を明示したうえで募集されるふるさと納税を CF 型ふるさと納税と呼ぶが、本論文では、全国の CF 型のふるさと納税を分析するために、2019 年度の 300 件を超える個別プロジェクト情報を収集・集計によってその傾向を概観し、そのうえで都市と地方の傾向を代表するプロジェクトとして板橋区と防府市の事例を分析した。

本論文の問題意識および論理展開は明快で、CF 型ふるさと納税の特徴、効果、課題の考察も深く説得的である。また、CF 型ふるさと納税での返礼品の性格や寄付者の地理的分布など、実務的

有用性のある発見も提示されている。データの特性上、統計的有意差を十分示し得ていないものの、集計データ分析やインタビュー調査の2種類の分析手法を通して、CF型ふるさと納税がふるさと納税制度をより良い姿へと導く可能性があることを示したのは、卒業研究に期待される水準を大きく超えるものと評価できよう。以上により、優秀卒業論文選考委員全員一致で本論文を令和3年度最優秀卒業論文として選定した。

優秀論文賞（経和会長賞）

鈴木くれは（井原ゼミ）

「マレーシア化粧品市場における若年層消費者の購買行動と日本企業の課題」

【概評】

本論文は、日本企業によるマレーシア系化粧品市場に対する若年層消費者の購買行動の分析と検証を行い、今後の課題を提示するものである。

まず、本論文では、マレーシアにおける化粧品市場の歴史と市場の構造について詳細に紹介することから始められている。そこでは、外国の化粧品メーカーの進出によって市場の拡大がなされていること、日本企業の進出もみられることが確認している。

そのうえで、第2章では、市場の内容について分析が行われ、とくに日本企業のマレーシア進出について検討されている。そこでは、マス市場となる若年層をターゲットとした市場の獲得の必要性を提示している。

続く第3章では、マレーシアの化粧品の消費行動について、文化的背景や宗教的背景を踏まえた特徴について、埼玉県が行ったムスリム女性へのアンケート調査に基づいて紹介されている。さらに第4章では、筆者なりの分析フレームワークを構築し18名のマレーシア在住の若者に構造化インタビューを実施している。この第4章のインタビュー結果の分析に基づいて、日本企業のマレーシア市場での課題を提示しているのが第5章である。課題としては、マス市場へのアプローチ、製品バリエーション、流行への注目、高品質・低価格商品の投入があげられている。

本論文は、マレーシアの化粧品市場を考察するにあたり、歴史的背景、文化的背景も踏まえた分析アプローチをとっていることは独創的な点である。さらに、独自のフレームワークに基づいたインタビューを実施して自身の仮説を検証していることが高く評価できる。

優秀論文賞（経和会長賞）

蒲田 千春（大津ゼミ）

「不妊治療環境の在り方—公的医療保険の適用をめぐる—」

【概評】

本論文は、インタビュー調査を通じて、不妊治療への公的医療保険適用の是非や治療環境の課題を明らかにしようとする研究である。不妊治療経験者3名に対するインタビュー調査から、公的医療保険適用の導入には政策的意義があると評価できる一方で、導入そのものを目的とするのではなく治療の有効性や安全性を担保したり、不妊治療に関する社会認知度を高めたりすることが必要であると指摘している。

2022年4月から公的医療保険が適用されるようになるものの、公的医療保険適用の是非やその

具体的内容に関しては現在もなお解決されるべき課題が山積しており、喫緊の社会課題について精力的に検討している点を高く評価できる。さらに、研究テーマの特質からインタビュー対象者が女性に偏りがちなところ、インタビュー調査者に男性も加えており、多面的な視点から立体的に不妊治療の実態や課題を浮き彫りにしているところに高い独自性を認めることができる。既存研究が少ない研究テーマであることからインタビュー調査から課題を抽出するプロセスにおいて理論的な裏づけが欠いている点に課題はあるものの、調査に即して不妊治療に対する公的医療保険適用のあり方を新たに提案する論文として高く評価される。

優秀論文賞（経和会長賞）

川平 慈音（有賀ゼミ）

「環境配慮型宅配便サービスへの支払意思額とその要因」

【概評】

オンラインによる宅配サービスの利用が急増する中、宅配便等の運輸業における温室効果ガス削減は喫緊の課題となっている。本論文は、独自に集計したアンケートに基づき、新たな宅配便価格に温室効果ガス削減のための費用を上乗せした環境配慮型サービスへの人々の支払意思額（Willingness To Pay: WTP）を、仮想評価法（Contingent Valuation Method: CVM）を用いて推計している。更には、推計した WTP とアンケート結果に基づき、WTP に影響を与える要因について、複数のモデルを用いた実証分析を行っている。

環境配慮型宅配サービスが社会で受け入れられる可能性について分析を行った研究は世界的にも珍しい研究である。本論文の WTP の推計によって、環境配慮型宅配サービスに対する一定の需要があることを明らかにしたことや、丁寧な実証分析によりいくつかの興味深い要因を明らかにしたことは高く評価できる。また、本研究が具体的な政策的含意を持つ点も評価に値する。

埼玉大学の学生に限定されたアンケートに基づく分析であり、サンプルの偏りは課題ではあるが、研究テーマの新規性、いくつかの興味深い発見が示されている点が高く評価された。先行研究との比較等を通じてテーマ・発見の新規性、学術的貢献をより明確に述べることであれば更に良い研究となったであろう。